

日程 平成 29 年 9 月 8 日~11 日 (北海道) 幌尻岳

9/8 新千歳空港=新冠 (泊)

9/9 新冠=イドンナップ山荘 P-新冠ポロシリ山荘 (泊)

9/10 新冠ポロシリ山荘-新冠コース分岐-幌尻岳-新冠コース分岐-新冠ポロシリ山荘 (泊)

9/11 新冠ポロシリ山荘-イドンナップ山荘 P=新千歳空港

撮影者：笠原 (写真提供：押久保さん 鈴木さん)

9/9



#### ←01 ふかふか亭

お世話になったふかふか亭。食堂を使わせていただいて各自持参の朝食を取り、さあ出発です。



#### 02 イドンナップ山荘 P→

昨晚ふかふか亭のご主人に道順をレクチャーして頂いた  
ので、迷わずにイドンナップ山荘駐車場へ。  
準備を整えて長い林道を前に元気な集合写真。



#### ←03 一つ目のゲート

ゲートを回り込む様に歩いて入り、長い林道歩きの始まりです。



04 2つ目のゲートは溪谷の橋の上→  
徒歩以外は絶対に通れない様に (?) 第二ゲートは溪谷に  
かかる橋の上。一番大きな 90L のザックは、小さな登山  
者用小窓をやっとの思いで通し、くぐり抜けました。



#### ←↓05 18km の長い長い林道歩き

アップダウンもそこそこあり、背中の荷物が堪えます。  
キタキツネが顔を出したり。奥新冠ダムが見えて残り少し。





### ←06 そのザックの重量は？

最後の30分は一番重いSLの40kgのザックをメンバー交代して担ぎ上げ。着いたー！本日の宿泊地。

9/10

### 07 雨の中の笹藪漕ぎ →

起床時は小雨だったが歩き出しは結構な本降りに。  
雨に濡れた笹藪を藪漕ぎで進みます。



### ←08 渡渉

新冠コースはこの渡渉1回のみ。昨晚からの雨で水かさが増している事もあり慎重に渡る。

### 09 急登の始まり→

沢を渡った後は急登が始まります。  
雨で眺望もなく、黙々と皆な無言で登る。



### ←10 大岩

森林限界を超え、風も強くなって来た。大岩に隠れて防寒着を一枚着込むが、この辺りから劇的に天候が回復。



### ↑11 山頂集合写真

リーダーの100名山達成を祝うかのように  
山頂に到着した途端、青空が！



隊長、100名山完登おめでとうございます。



#### ←12 日高の山々

リーダーの 100 名山達成に、山頂に居合わせた他の登山者達からも万歳の声が上がる。

雲も切れてきて、紅葉が始まった日高の山々がドラマチックに姿を現わした。



#### 13 紅葉の日高の山々→

山頂から北海道ならではの雄大な景色を楽しむ。



#### ←14 下山開始

名残惜しいくらいだが下山開始。

登りの雨が嘘の様な素晴らしい景色を見ることが出来た。



#### 15 青空と大岩→

登りで一枚着込んだ場所、大岩が遠く小岩のように見える。青空と紅葉のコントラストがとても美しい。



#### ←16 トラロープ箇所

何箇所か崩れてロープが張られた箇所が出てくる。慎重に下る。



#### 15 帰りの渡渉→

この沢を渡れば、後もう少し。



#### ←16 新冠ポロシリ山荘 帰着

無事に山荘に戻った。

こんな山奥の山荘に、また来る事はあるのか？！

貴重な山行の記念にと小屋をバックに集合写真を撮る。

(この夜の星空は天の川まで見える怖いくらいの満天の星空でした。明日はきっと晴れですね)



9/11

#### 17 最終日 新冠ポロシリ山荘出発→

SL アイディアのお祝いの黄色い風船。

皆んなでザックに風船をつけて、さあラスト。

長い長い林道歩きへ。



#### ←18 風船ゆらゆら

緑の林道に、黄色い風船を可愛らしく揺らしながら

また 18km の北海道電力管理道路を歩いて戻る。

飽きるほどに長いです。



#### 19 黄色い風船は注目の的→

すれ違う登山者から、「風船どうしたんですか？お祭りですか？」と質問が飛ぶ。100名山達成のお祝いなんですよ、と答えると「どの方？」と。

リーダー、1日有名人でしたね。



#### ←20 偶然ゲートが開く

丁度北電の車が入るところで、偶然ゲートが開く。奥新冠ダムまで行くそう。前日の地震の為か？(地震！と気がついたのですが誰も本気にせず。下山後の温泉で地元の方の会話でやはり地震だったと判明)

そして、長い行程の今回の山行も無事に終わった。